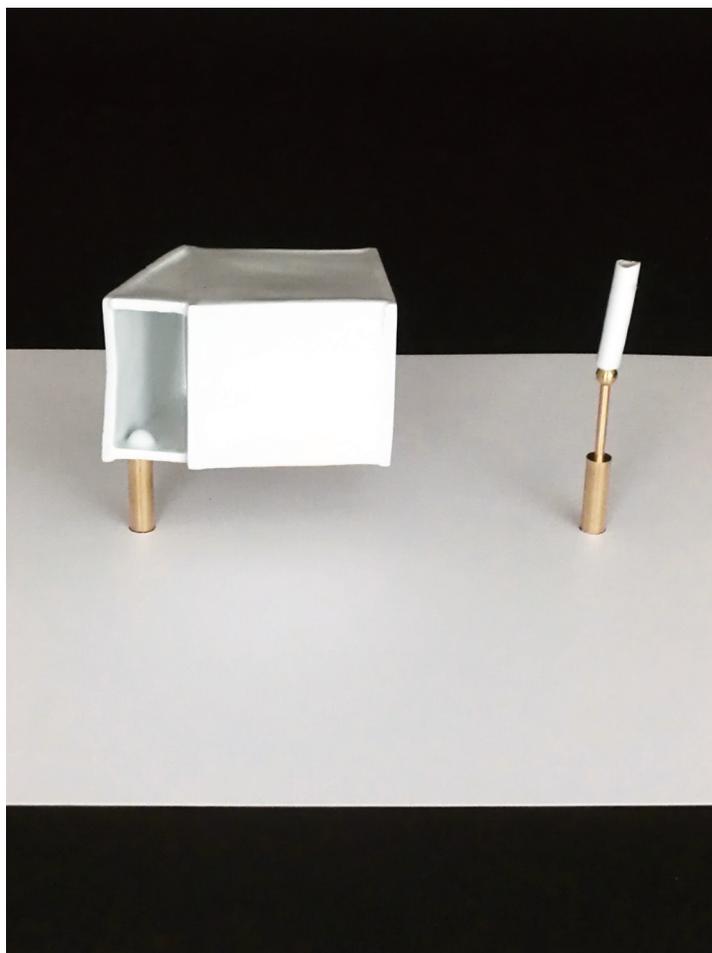


アートギャラリー

白 磁  
=紙は神=

石 田 成 昭



奈野 479 高 18cm

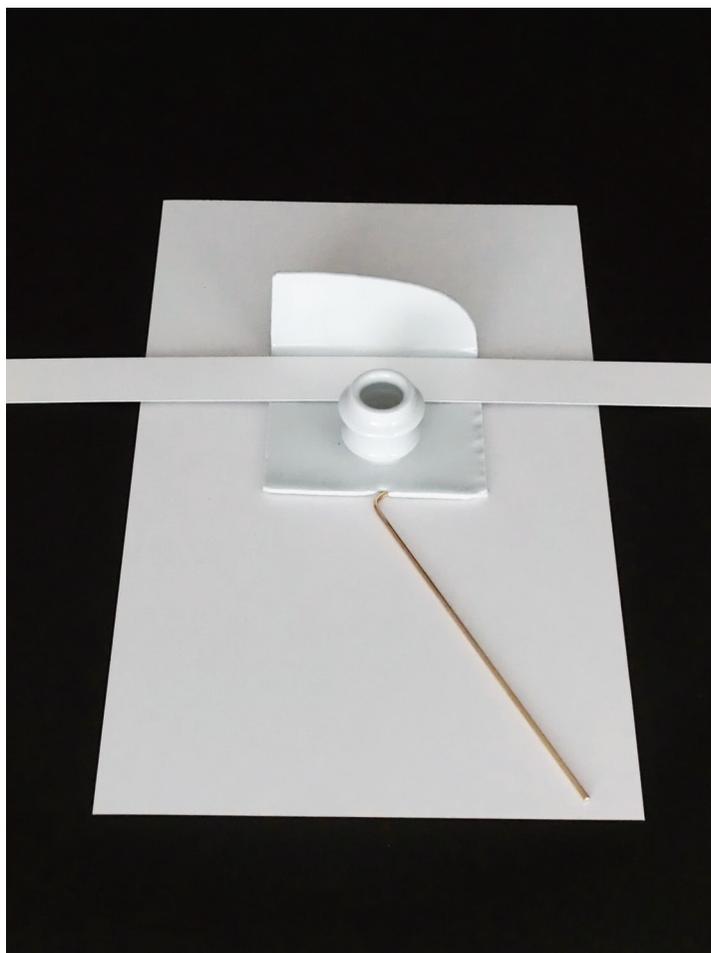
—紙は神—

2007年秋、学生の国際交流の一環として、吾が造形芸術専攻主催で、ベルギーの国立高等視覚芸術大学（ラカンブル）とのワークショップが本学で開催された。その時の課題が“紙の可能性”であった。美術工芸の分野では紙は最も重要な必需品であるが、造形素材として今一度見直しをしてみようと云うものである。新聞紙、雑誌、段ボール等、多量の材料が集められ、私も一頻り学生と共に紙と向き合う機会を得た。視点を変えての紙との触れ合いはとても新鮮で、出来上がった作品群は大変満足出来るものであった。白磁と異素材の融合をテーマに制作を進めている私は、自ずと白磁と紙の取合せを考えるに至った。紙は今まで扱った金属、木、ガラスとは全く異なった性質、材質感を持ち、期待していた以上の新しい形と“遊び”をもたらしてくれた。その遊びはオブジェ焼の出現と同時に忘れ去られてしまったが、カッターナイフと定規さえあれば簡単に作業が出来る紙は、工芸が本来持っている“遊び”の概念を思い出させ、無限の組合せの妙を楽しませてくれる。“遊びの道具”としての焼物の復活である。それともう1つ特筆すべきことがある。机の上に1枚の白い紙を置くと、不思議なことに紙の上にぽっかりと透明で清浄な空間が出現する。紙を右へ移動させるとソレも右へ、左へ動かすと左へついてくる。感ずるその気配は、プラスでもなければマイナスでもない、ただ静寂だけが存在する。靈気を宿すとはこういうことなのだろうか。ひょっとすると紙（kami）は神（kami）なのかも知れないと何時しか思える様になった。



奈野 5 0 9 高 15cm

四角い紙に 四角い神が下り立ちます  
丸い紙に 丸い神が下り立ちます  
やがて 神は姿を消します  
四角い紙は 四角い神となります  
丸い紙も 丸い神となります  
終には 全ての紙が神となります  
穴かしこ 穴かしこ



奈野493 高7cm



奈野 5 1 2 高 8cm



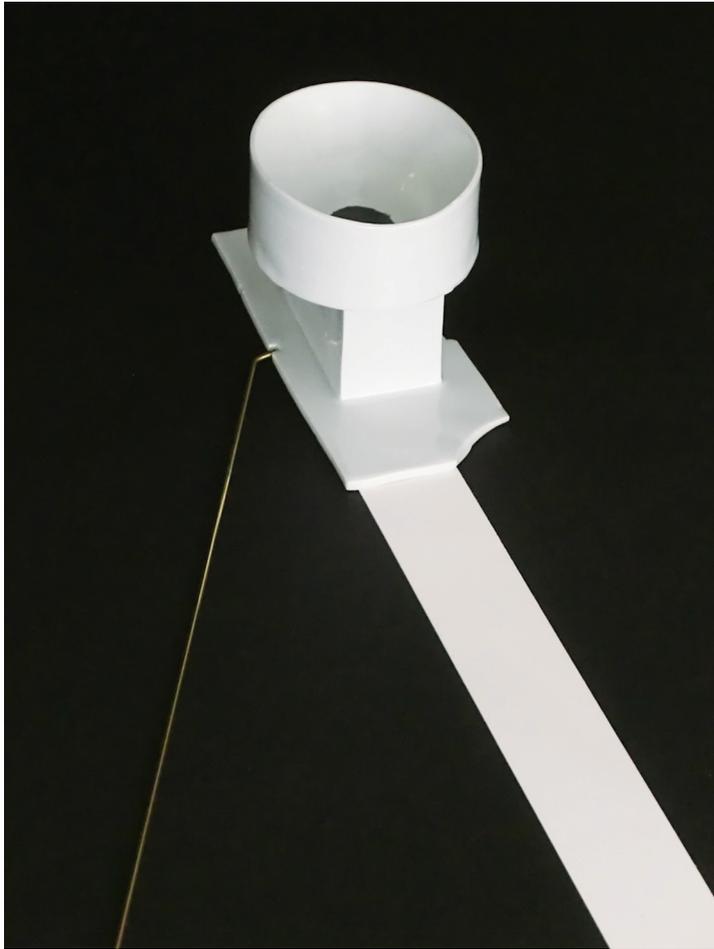
奈野 4 8 9 高 31cm



奈野 4 9 1 高 7cm



奈野 5 1 0 高 15cm



奈野5 1 1 高 14cm